



和敬塾メールマガジン第81号



2024年10月29日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第81号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

第35回塾友会ホームカミング大会が盛大に開催されました！

10/26(土)、第35回和敬塾塾友会ホームカミング大会が盛大に開催されました。全国の塾友200名以上が参加しましたが、昭和30年代、40年代卒の塾友の他、若い塾友も多数参加していたのが印象的でした。

大会は13時から大講堂で式典と講演会が開催され15時過ぎから本館中庭で懇親会が開催されました。

式典では物故者追悼、主催者代表挨拶(福山塾友会長)、招待学年代表者挨拶(S49西・上田善久氏・元パラグアイ大使)、祝辞(前川正理事長)、塾歌斎唱がありました。

塾歌斎唱は通常1番だけで終わるケースが多い中、今回は「フルバージョン大会」ということで、3番までしっかり唄い、皆さん大満足の様子でした。

記念講演は公益財団法人日本サッカー協会・名誉会長の田嶋幸三氏が「夢があるから強くなる～日本サッカー界の歩みと未来～」と題する講演をして戴きました。

講演の冒頭、「講演を軽い気持ちで受けたが、今日こちらに来て歴代の講演者の色紙を見て、緊張した」と言われ、笑いを誘っておられました。

また田嶋氏は昔は和敬塾の傍に住んで居られたとのことで、散歩で正門前の歩いたこともしばしばあり、「どんなところなんだろう?」と思っていたそうですが、この講演の依頼を受け調べたところ、「食事をして寝るだけの単なる学生寮では無いことがよく分かった」とも言われていました。

講演の本題では、サッカー協会のビジョンやFIFA・ワールドカップ誘致に向けた取り組みなど、興味ある内容の話ををしていただき、あっという間に1時間の講演が終了し、講演終了後の質疑応答では日頃サッカーに携わっている塾友を中心にたくさんの質問があり、熱心に応えて戴きました。

講演会終了後は本館中庭で立食パーティーが開かれ、会場には屋台もあり、思い思いに旧交を温めっていました。

詳細な式典内容や講演内容については次号の塾友会新聞(コリー新聞)にお譲りしたいと思います。

<文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



開会挨拶をされた荒谷実行委員長



招待学年代表の上田善久氏



日本サッカーについて熱く語る田嶋幸三氏



本館中庭での懇親会



和敬塾メールマガジン第 86 号



2024 年 12 月 18 日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 86 号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

学生ホール・食堂の窓が木製サッシに生まれ変わりました！

和敬塾創立 70 周年記念事業の一環で、塾生が毎日食事をする食堂のリニューアル工事を計画しておりましたが、この程、その第一期工事の外装工事(窓のリニューアルと西側ドアの交換)が完了しました。

食堂の休業日は、夏季休暇(8日間)、年末年始の休暇(8日間)の年間16日間のみで、残り349日は1日3食(朝・昼・晩)の提供をしています。この稼働日を維持しつつ、リニューアル工事を行うために2年計画で工事に取組みました。

今年度は外装工事で、昭和 32 年に施工したスチール製から木製の窓枠への交換、西側出入り口の扉を木製ドアに交換し、ぐっとモダンな感じになりました！

来年度は、内装工事中心に、床の補修、壁紙の交換・塗装、洗面台の交換等を予定しています。

<文責:黒瀬富佐夫>



※現在和敬塾は、来年度新入塾生の募集シーズンですので、ぜひお知り合いの方にご紹介ください。

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。 公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第87号



2025年1月10日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第87号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

塾友がプロデュースした番組がNHK・BSで放送されます！

これまでこのメールマガジンで何回かご紹介した塾友（昭和51年北寮卒）の井上隆史氏（元東京藝術大学 特任教授、元NHK放送センター放送総局エグゼクティブプロデューサー）より、以下のようなメールが入りましたのでご紹介致します。

私が企画協力した番組が来週末の1月18日(土)19時半からNHK・BSで放送されます。

この番組はNHKエンタープライズと私の個人会社「地球総研」が共同で制作した「地球鉄道」という新番組で、今回の第1集はシンガポールからマレーシア、タイ、ラオスを経て中国雲南までの約1,400kmの鉄道旅を紹介する内容です。1/18(土)、1/25(土)、2/1(土)の3週連続、19:30から放送(89分×3回)予定です。お時間があればぜひご覧ください。

ラオスに初めて鉄路が敷かれて、ユーラシアが繋がりました。この春には中国の西南地域を経て西安に向かう撮影の準備を始めています。できれば西安からシルクロードを通ってヨーロッパのジブラルタル海峡まで25,000kmを辿りたいと思っています。

51年北寮卒 井上隆史



井上隆史氏



<文責:佐藤一義>

※現在和敬塾では、新年度新入塾生を募集中ですので、ぜひお知り合いの方にご紹介ください。

*メールマガジンに関するご意見やお問合せは右記にお願いします。公益財団法人和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第88号



2025年 1月16日 和敬塾事務所

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第88号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

文京区の「文京共創フィールドプロジェクト」に塾生が参加しました！

文京区と和敬塾は包括連携協定を締結以来、様々な協働事業を行ってきましたが、今回は区の歴史や小説などの文化に根ざした場所や施設など、口ヶ地となる隠れた地域資源を若者やシニア目線で発掘し、それを口ヶ地botで発信することで地域の魅力を掘り起こし、地域活性化を図ることを目的とした区の採択事業のワークショップに塾生が参加した模様を紹介します。

1月12日に開催されたワークショップは、採択事業者「株式会社たびふあん」(代表西岡貴史氏)が主催し、区内在住の小中学生、高齢者も参加しているもので、塾生は区内在住の大学生として参加しました。

15名の塾生が参加し、山田ひろこ区議と企画政策部企画課市川主査陪席の下、和敬塾で14時から開始されました。

4グループに分かれ、塾生同士ですが改めて自己紹介をしてから、STEP1～STEP4の課題をグループで話し合いながら進行していきました。

STEP1では、既存の口ヶ地から興味のある場所を選ぶ、STEP2では、製作者がその口ヶ地を選んだ理由を考える、STEP3では、自分が推せる口ヶ地を探す、STEP4では、それを応募に向けてまとめる、という流れで進んで色々な推し口ヶ地が出てきましたが、応募後は利用者による投票や最終審査を経て、優秀賞には賞金も出るということで力が入りました。

因みに、出てきた推し口ヶ地は、こまつがばし、目白台運動公園、日無坂、のぞき坂、湯島ハイタウン、桂林寺、前川邸、鉄砲坂、タベルナ・アイ、旧南・乾寮、椿山荘、目白坂、目白台一丁目遊び場、東大インターナショナル寮周辺とニッチな推しが多いので、ぜひ検索してみてください。

盛況の内に2時間を超えるワークショップは終了しました。

口ヶ地チャレの応募・情報はこちら

<https://rokechi-bot.com>



<文責:西田健一(和敬塾事務局)>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



和敬塾メールマガジン第89号



2025年 1月22日 和敬塾事務所

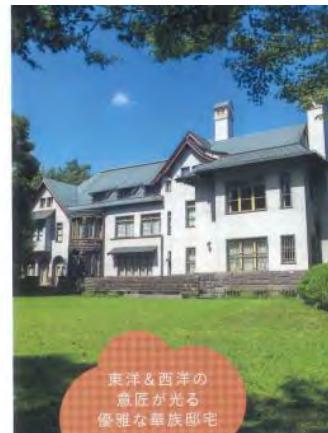
和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第89号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

講談社 MOOK の“ぶらっと東京日和”で和敬塾本館を紹介！

和敬塾本館は東京都指定有形文化財に登録されている由緒ある建物ですが、この度1月20日発行の講談社MOOK・大人の週末SPECIAL“ぶらっと東京日和”的「名建築を巡るさんぽ」のコーナーで紹介されています。（“ぶらっと東京日和”は東京の魅力を知る上で必読の情報が満載されたガイドブックです。）



洋の建築美にみどれる
エリア
護國寺
九条
池袋
雑司が谷



和敬塾本館

元内閣総理大臣・細川護熙の祖父である護立侯爵の本邸として、1936(昭和11)年に完成。一男三女の6人家族が9年暮らした。各部屋で趣きが異なり、見どころが多い。

- イギリスのチューダー・ゴシック様式を基調とした西洋風の外観
- 護立侯爵が肌に入っていたという書斎。「栗の間」と呼ばれ、栗や楓、天井にも栗の木を使用
- 玄関ホールの階段の手すりや窓には、忍足しが大胆にあしらわれている

講談社MOOK おとなの週末SPECIAL	
ぶらっと東京日和—自分だけの東京を見つける小さな旅—	
2025年1月20日 第1刷発行	
発行人	出橋一親／藤木和久
編集人	上西俊彦
発行所	(株)講談社ビーアー 〒112-0013 東京都文京区音羽1-1B-10 電話03-3943-6559(編集)
完売	(株)講談社 〒112-8001 東京都文京区音羽2-12-21 電話03-5395-3606(販売)
定価1320円 [本体1200円] (税10%)	



玄関ホール



書斎(栗の間)

<文責:佐藤一義>

東京都では民間事業者と連携し、「東京の魅力発信プロジェクト」として国内外へ東京の魅力を発信していますが、このプロジェクトに「講談社 MOOK・大人の週末 SPECIAL “ぶらっと東京日和”」が採択されています。

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



和敬塾メールマガジン第90号



2025年1月27日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第90号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

富田前駐米大使(塾友)のセミナーが和敬塾で開催されました!

1月22日(水)14時から前駐米特命全権大使の富田浩司氏(塾友・S55南)によるセミナーが和敬塾本館で開催されました。このセミナーは同じく塾友の香山俊巳氏(H2西)が代表理事を務める次世代創造協同組合が主催した新春トップセミナーで、会場には会員企業の代表のほか塾友や塾生など約40名が参加しました。

講演の演題は「**日米関係と2025年の展望**」で、1月20日にドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に就任したばかりとあって、まさにタイムリーな内容でした。

富田氏は東京大学を卒業(和敬塾を卒塾)後、1981年に外務省に入省し、北米局長等を経た後、イスラエル大使、韓国大使を歴任し、**2020年12月から2023年11月まで駐米大使**を務められました。



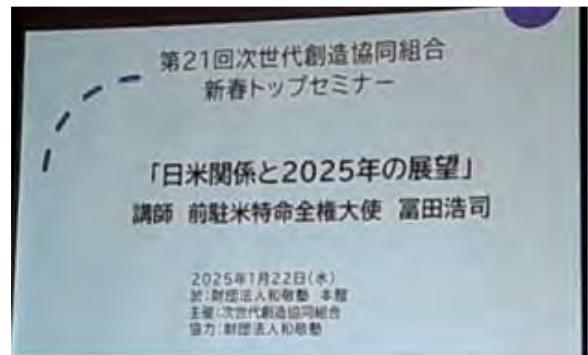
今回の講演ではトランプ新大統領の世界観とそれに伴う日米関係を中心に話され、トランプ新大統領に関しては「強権的な側面と堅実な二つの側面がある」と言われ、自国優先と取引型外交を前面に出したトランプ主義と国際社会との関係にも言及。

また、1期限りの政権や野心的すぎる公約がリスクとなるという話をされた後、今後の日米関係を考える上で、人脈構築から重要政策の摺り合わせなどの今後の流れを分かりやすく紹介して戴きました。

講演の最後には質疑応答があり、参加した塾生の質問にも丁寧にお答えいただきました。

講演会の後は、コーヒーやジュース等を飲みながらの和やかな懇談会となり、16時半頃にセミナーはお開きとなりました。

<文責:佐藤一義>



*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)





2025 年 1 月 28 日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第 91 号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

毛内先生(脳科学者)のシンポジウムが開催されました！

1 月 16 日(木)15 時～16 時 30 分、和敬塾第 2 教室にて脳科学者の毛内拡先生(お茶の水女子大)をお招きし、『心ってなんだろう～不合理な「脳」の正体を科学でひもとく』という演題でシンポジウムを開催しました。

先生は「脳科学は現代人の必修科目」との考え方から、脳科学を分かりやすく伝えるために、あらゆる層に各種 SNS 等で最新情報を発信しています。著書も多く、そのタイトルは『面白くて眠れなくなる脳科学』、『「頭がいい」とはどういうことか』など脳科学を身近に感じられるものです。特に『脳を司る脳』(ブルーバックス刊)は、その年(2020 年)に刊行された一般向けの科学書の中で、もっとも優れた作品に贈られる講談社科学出版賞を 2021 年に受賞しています。



シンポジウムでは次のような話があり、「脳」の仕組みと働きについて大いに興味を惹かれました。

- ・脳の重さは体重の 2%しかないが、基礎代謝の 20%を消費する。しかしそれでも非常に省エネに機能するように作られている(電力に換算すると 20w 程度という試算もある)。
- ・脳には独特的のクセがある(思考のショートカット=認知バイアス、例:確証バイアス等)。それに自分で気付くことが重要。
- ・人は脳内で経験と記憶から作った予測をベースに実測値(視覚や聴覚など)と照合して、それを知覚している。脳の数だけ現実がある(人によって感じている世界が違う)。
- ・脳は非常に柔軟性がある(可塑性)。能動的に経験を積むことが大事。失敗をしないと経験が積み重ならないので、脳機能を正しく発達させられない。
- ・脳の話題になるとニューロンという神経細胞が取り上げられるが、グリア細胞、とくに「アストロサイト」が注目されているので、この名前を覚えていてほしい。
- ・新奇体験(旅行など)、情動喚起(胸がどきどきしたり)が、アストロサイトを活性化し、脳を鍛える。

また若い人の生活から切り離せない SNS についていくつかアドバイスもいただきました。

- ・SNS は脳を激しく刺激するように作られており、一方、刺激をコントロールする理性が発達するには時間がかかる(20 代までかかる)。青少年期は SNS に非常にハマりやすいので注意が必要。
- ・集中している時はスマホの通知は切ったほうが良い。一度失われた集中力が回復するのに約 20 分かかるが、通知に気がとられると一瞬で途切れる。特に SNS は時間を決めて接するのが良いでしょう。

さらに「脳の持久力」(頭の回転の速さよりも、継続的に考え続けていく能力であり、コミュニケーション力やリーダーシップに関わる部分。感覚や運動能力、アートと創造性、他者の気持ちがわかる能力なども含まれる)が和敬塾の共同生活を通じていかに強化されるか、そのメカニズムを研究したいという話にもなりました。



後半は、先生と参加学生で意見交換が行われ、和敬塾の共同生活を脳科学の分野から研究するための第一歩となりました。

※現在和敬塾は、来年度新入塾生の募集シーズンですので、ぜひお知り合いの方にご紹介ください。

<文責:佐々木良夫>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。 公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

***和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。**

<https://www.wakei.org/admission/contact> 電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



和敬塾メールマガジン第92号



2025年1月28日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第92号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

東洋経済オンラインに和敬塾の記事が掲載されました！

1月27日付の東洋経済オンラインに和敬塾の記事が6ページにわたって掲載されました。記事タイトルは「村上春樹も住んだ男子寮「和敬塾」の濃密な日常とは。令和でも「同じ釜の飯を食う」濃い人間関係が健在、体育祭や独自行事も」(yahooニュースでも閲覧できます。)です。

記事では和敬塾の概要説明のあとに、新南寮・松岡君、北寮・大野君が登場しインタビューの内容が掲載されています。東寮、西寮については記者の目から見た寮の特徴について書かれており、4寮それぞれについて触れられています。

インタビューでは、「1年生の大野君は「寮の中は縁が多く住むには魅力的だし、ご飯も毎日ついてくる。大学からも近く、ここなら安心だと感じた」「(秋の体育祭では)濃い人間関係ができました」「寮の先輩や友人は大学の友人たちとはまったく違いますね。(塾内の)ほかの寮の学生とももっと交流したいです」と語っています。

3年生の松岡君は父上が南寮出身で「和敬塾は人間関係が勉強になる」と聞いて入寮したそうです。入寮して驚いたのは、先輩との距離感の近さで、体育部長としての経験なども語ってくれました。

また松岡君は「(オンラインは便利だが)やはり直接会ってみないとわからない。和敬塾のいろいろありすぎる学生生活が楽しい」、大野君は「和敬塾ではたまたま誰かと会って話すことが多く、世界が広がります。入ってよかったです」と和敬塾の生活を時間しているからこそ出てきた言葉でまとめてくれています。

ただいま和敬塾は新入塾生の募集期間ですので、ぜひお知り合いにこの記事をご紹介くださるよう、よろしくお願ひします。

<文責:佐々木良夫>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact> 電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



2025年2月5日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第93号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

金子容三代議士(塾友)と塾生との懇談会が開催されました!

1月22日(水)17時から防衛大臣政務官を務める金子容三代議士(塾友・H17東)と塾生との懇談会が和敬塾学生ホールで開催されました。この懇談会には4寮代表の17名の塾生の他、3名の塾友、3名の塾職員が参加しました。

金子容三氏は長崎県出身で、長崎の青雲中学・高等学校を卒業後、慶應義塾大学法学部に合格と同時に和敬塾に入塾。東寮で4年間の塾生活を過ごされ、大学卒業(2005年)後は日興コーディアル証券(現SMBC日興証券)に入社。18年間の社会人生活(米国の大学留学を含む)を経て、2023年10月に衆議院議員に初当選し、現在は2期目で第2次石破内閣の防衛大臣政務官を務められています。



今回の懇談会ではまず自己紹介として、大学2年の時に和敬塾東寮の体育部長(全塾体育部長兼任)を務めた思い出などを語った後、自らの出身地の長崎県が離島を有する地域であることを考えた上で、政治家の道を志した旨の話がありました。

その後、質疑応答の時間に移ると次々と手が上がりましたが、最初に質問した塾生が「金子先生」と呼んだことから、「代議士に対し先生と呼ぶ人が多いが、自分のことを先生と呼ばないでほしい。先生と呼ばれると勘違いするからね！」と、冗談を言いながら、和やかな質疑応答が始まりました。

最初の質問は自らも離島出身という新南寮の塾生から過疎問題等の具体策に関するもので、これに対し離島地域の保全を図る「有人国境離島法」が平成28年に制定されたという紹介がありました。

その後次々と手が上がり、スタートアップや情報発信など若者らしい質問が続いた中、この4月から防衛装備庁や経済産業省に就職が決まっている2人の4年生からその専門分野の質問が出て、金子氏も慎重に言葉を選びながら応える場面がありました。最後の方では、金子氏の将来構想を聞かせてほしいという質問があるなど、和敬塾ならではざっくばらんな質疑応答の時間が終了し、全員で集合写真を撮り、1時間半に及ぶ懇談会が終りました。

<文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



2025年2月27日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第94号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

3/7~3/9に東京の伝統と匠の技を再発見するイベント

「EDO TOKYO TIMELESS 展」が和敬塾本館で開催されます！

和敬塾本館はこれまで映画・テレビの撮影や様々なイベントで活用されてきましたが、この度、東京都が主催する「江戸東京きらりプロジェクト」の一環で「EDO TOKYO TIMELESS 展」を開催することになりました。

開催期間は**3月7日(金)～3月9日(日)**の3日間で、開催時間は**10:00～17:00(9日は16:00まで)**です。入場無料ですが、ワークショップは有料で事前予約が必要となります。

以下は主催者のホームページからの抜粋になりますが、是非、お時間のある方はご来場ください！

江戸東京きらりプロジェクトは、2025年3月7日(金)～3月9日(日)の間、旧細川侯爵邸として知られる和敬塾(東京都文京区)にて、「**江戸東京きらりプロジェクト EDO TOKYO TIMELESS 展～和敬塾で出会う、時代を超えて愛され続ける東京ブランド～**」を開催します。

東京が誇る老舗の名品や匠の技、食文化を“Timeless”という視点から再発見することを目的とした本展覧会では、和敬塾の歴史と趣に満ちた空間に、長きにわたって時代とともに進化と深化を遂げてきた東京ブランドが集結。伝統を守りながらも現代のライフスタイルに調和するその魅力をお届けします。

会場となる和敬塾本館は、東京都指定有形文化財(建造物)に指定される歴史的建造物です。月に1、2回程度の一般公開日を除き、通常は敷地内にお入りいただくことができませんが、この3日間は一般公開します。

会場では、和敬塾本館内を回遊いただきながら、江戸東京きらりプロジェクトに参加する39の事業者の展示をご覧いただき、そのルーツや進化に触れていただきます。江戸東京が誇る伝統的な匠な技はもちろんのこと、東京都の友好都市であるパリ市が運営するデザイン産業インキュベーション施設 BDMMA(Bureau du Design, de la Mode et des Métiers d'Art)所属のデザイナーとのコラボレーション等、新たな挑戦もご紹介。会場に展示する一部の作品や関連する商品等は会場で購入いただけます。また、江戸東京の匠の技を実際に体験し、お楽しみいただけるワークショップも開催します(事前予約制)

時代を超えて愛される、東京の伝統をこの機会に体験してみてはいかがでしょうか。

江戸東京きらりプロジェクト リンク

[ホームページ\(外部サイトへリンク\)](#)



ホームページ

2025

03
/
07

Fri

03
/
09

Sun

10:00

和敬塾本館

17:00

旧細川侯爵邸

16
最終日
時終了<https://edotokyokirari.jp/>

江戸東京きらりプロジェクト

EDO TOKYO TIMELESS展

主催 東京都 / 江戸東京きらりプロジェクト

和敬塾で出会う、
時代を超えて
愛され続ける東京ブランド



*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。 公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



2025年3月12日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第95号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

4月6日(日)、和敬塾の入塾式で元法政大学総長の 田中優子先生が講演されます！

和敬塾では、4月6日(日)に新入塾生を迎える入塾式を開催します。

今回は田中優子(たなかゆうこ)先生(法政大学名誉教授・元総長、法政大学江戸東京研究センター特任教授、編集工学研究所・イシス編集学校学長)をお招きし、「生きることと学ぶこと」と題して、ご講演いただくことになりました。

和敬塾では、4月の入塾式、5月の創立記念塾祭、9月の体育祭、12月の予饗会という4つの大きな行事がありますが、体育祭を除く3つの行事で有識者の先生方にご講演を賜っております。



田中優子先生

これまでご講演いただいた610人の先生方のリストはこちらからご覧になれます。

https://www.wakei.org/library/kouenroku_timeline.html



入塾式当日の主なスケジュールは以下の通りです。(変更の可能性あり)

<前半の式典内容>

9:30~11:35頃@大講堂

- ① 理事長挨拶
- ② 塾友会長挨拶
- ③ 塾生代表挨拶
- ④ 新入塾生代表挨拶
- ⑤ 記念講演

<後半の内容>

11:45頃~15:00頃@本館周辺

- ① 記念撮影(4寮別@本館中庭)
- ② 懇親パーティー(@本館中庭)
- ③ 保護者懇談会(@本館)
(この間、新入塾生は教養講座フェアに参加)
- ④ 和敬塾本館見学

昨年度入塾式の様子。左は富田浩司先生(和敬塾OB、元駐米特命全権大使)によるご講演。右は懇親パーティー



その他の和敬塾の行事に興味のある方はこちらのURLからご覧になれます。

<https://www.wakei.org/mailmagazine/wakeimagazine20240415.pdf>



*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

*和敬塾の資料請求や入塾に関するお問い合わせは以下にお願い致します。

<https://www.wakei.org/admission/contact>

電話(03)3941-7446 担当:下深迫(しもふかさこ)



和敬塾メールマガジン第96号



2025年4月1日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第96号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますのでご了承下さい。

専務理事交代、並びに新入塾生を対象にした 入塾オリエンテーション開催のお知らせ



佐々木専務理事と前川理事長

<専務理事交代のお知らせ>

この度、専務理事の交代人事がありましたので、お伝えいたします。平成 26 年以来 11 年間その任にあった佐藤一義に代わり、佐々木良夫が専務理事に就任いたしました。

佐々木専務理事は早稲田大学第一文学部を昭和 63 年に卒業、平成 9 年から和敬塾に勤務し、令和5年6月に常務理事となり今日に至っております。

佐藤理事は常勤職として後進の育成に当たって参ります。

<佐々木専務理事からの挨拶>

この度、専務理事に就任いたしました佐々木と申します。和敬塾創立 70 周年を迎えるにあたり、これまでの良き寮風と伝統を大切にしつつ、創立 100 周年に向けて新たな価値の創造に取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。(佐々木良夫)

<入塾オリエンテーションが開催されました！>

東京の桜も満開となり、いよいよ春本番！令和7年度の新入塾生が入ってきました。今年の入塾式は4月6日(日)に予定していますが、それに先立ち 3 月 31 日(月)に入塾オリエンテーションが開催されました。オリエンテーションは 3 部に分かれ、主なプログラムは以下の通りでした。

<第1部:約70 分>

- ① 歓迎挨拶および和敬塾の紹介(佐々木専務理事)
- ② 年間スケジュールと行事・教養講座の紹介(新村北寮寮長)
- ③ 和敬の精神と塾歌について(三嶋常務理事)
- ④ 職員紹介(食堂G→東寮→西寮→新南寮→北寮→施設管理G→塾事務所)

<第 2 部:約 60 分>

消費者トラブル被害防止研修会

文京区消費生活センター主催:「契約トラブルにあわないために」

<第 3 部:約 30 分>

和敬塾本館見学(案内役:塾事務所・丸山)

第 1 部では和敬塾の歴史や共同生活の基本精神を学ぶと共に、職員の紹介等がありました。

最初に挨拶に立った佐々木専務理事からは和敬塾の歴史や混沌とした時代の中で環境適応力を持つ

た人材の育成などに取組む和敬塾の活動についての紹介がありました。その後は、塾の行事や教養講座の紹介、塾歌の練習、職員紹介等がありました。

第2部では上京したばかりの大学生や若手社会人を狙ったマルチ商法などの詐欺行為が多く発生しているため、文京区消費生活センター相談員の西川様から具体例を紹介しながら、その防止策についての研修会があり、新入塾生も興味深く聞いていました。

第3部では和敬塾本館(旧細川侯爵邸)の見学会を行いました。この和敬塾本館は収益事業ができる文化財として活用されており、多くの映画やテレビドラマの撮影に使われています。普段は中々入る機会が無いので、新入塾生も興味津々で説明を聞いていました。

<第1部>



佐々木専務理事からの歓迎挨拶



塾歌の練習風景



職員紹介

<第2部:消費者トラブル被害防止研修会>



文京区消費生活相談員による講習



講習を熱心に聞く新入塾生

<第3部:本館見学会>



<文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は以下にお願い致します。

公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第97号



2025年4月9日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第97号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

令和7年度入塾式が盛大に開催されました！



新入塾生の入場



新入塾生も習いたての塾歌を齊唱しました！

東京の桜は3月末に満開となりましたが、その後花冷えの天気が続き、この日を待つかのように和敬塾の桜も満開の花を留めていた4月6日(日)、令和7年度の和敬塾入塾式が学生ホール・大講堂で開催されました。本年度の新入塾生は日本人82名、留学生37名で、多数の保護者の方にも参加戴きました。

入塾式の式典内容は以下の通りです。

<大講堂における式典内容>

- | | |
|------------|--------------------------|
| ① 理事長歓迎挨拶 | 前川 正 理事長 |
| ② 来賓挨拶 | 福山 幸一 塾友会長 |
| ③ 塾生代表挨拶 | 全塾委員長 新南寮3年 桐原君 |
| ④ 新入塾生代表挨拶 | 各寮代表 4名 |
| ⑤ 記念講演 | 法政大学名誉教授・元総長
田中 優子 先生 |



最初に挨拶に立った前川理事長からは「共同生活を通した人間形成」との和敬塾のモットーを紹介し、「和敬塾での共同生活を通して、幅広い奥行きのある人材に育ってほしい」との歓迎の挨拶がありました。

5,000名を超えるOBの集まりである塾友会の福山会長(昭和57年北寮卒)からは、「入学試験の答えは一つであるが、社会の答えは一つではない。この明白の森で価値観の違いを学び、多様な経験をする中で発想力の高い人間となり、人ととのつながりや豊かさを学んでほしい。」と自身の塾生時代を振り返りながら新入塾生の成長を期待する挨拶をされ、その後、塾友会の豊田副幹事長から就職支援活動をはじめ様々な塾生支援を行う塾友会の説明がありました。



桐原全塾委員長



川井君(東寮)



竹内君(西寮)



赤曾部君(新南寮)



金原君(北寮)

塾生の代表として歓迎の挨拶に立った全塾委員長の桐原君(新南寮 3 年)からは「和敬塾には無限の学びのチャンスがある。皆さんと一緒に成長していきたい。」との話があり、その後、各寮を代表した 4 人の新入塾生から初々しい挨拶がありました。(前頁写真参照)

和敬塾の式典では様々な分野で活躍されている識者による記念講演が恒例となっていますが、今回は法政大学の元総長で同大学名誉教授の田中優子先生にお願いしました。

演題は「生きること学ぶこと」で、新しく大学生活や寮生活を始めた新入塾生に、「一人で考えるのではなく、様々な情報や他者との交わりの中から学び生き抜いてほしい」という主旨の有意義な講演をして戴きました。

講演の冒頭、田中先生は自らの法政大学の総長時代に「自由を生き抜く実践知」という大学憲章を策定したことを紹介。「大学生活では自由な生活を楽しんでほしい」と言われつつ、「自由に生き抜くには自分で決めることが基本だが、その自分で決める(自分の頭で考える)ことに落とし穴がある」と言及。

その後、先生の専門分野である江戸時代の様々な風俗を紹介する中で、寺子屋の様子を描いた絵をスライドで多数紹介しながら、江戸時代の教育方針が自由で個人授業が中心だったことを紹介。

次に、「混沌とした社会状況の中で自由を生き抜くためには、一人ではなく仲間とともに考え、表現し、行動するという相互編集の姿勢が大切である」という先生のお考えを紹介戴き、相互編集についての詳しい説明がありました。(詳細は紙面の関係で割愛させて戴きます。)

また、江戸時代は武士も町人も百姓も、身分をこえて自由な一私人として参加した「連」という組織があったことを紹介。「一人で居ない。一人で考えない。コミュニティーを大事にしてほしい。」との話で講演を終えられました。和敬塾には各寮の中に小単位の「班」がありますが、それを彷彿させる話となりました。

講演終了後は塾生からの質疑応答の時間となり、3名の塾生から質問があり、定刻の 11 時 30 分となり質疑応答を終了。皆で塾歌斎唱し、大講堂での式典を終了しました。

11 時 40 分から本館中庭で記念撮影が行われ、その後、前川正雄塾長の乾杯の音頭と共に昼食パーティーが開催され、塾生、塾友、保護者、職員、役員が一堂に会し歓談しました。参加者は食堂グループのスタッフが調理した料理に舌鼓を打っていました。



この日は昼頃に雨が降るという予報がありましたが、何とか最後までパーティーを続けることができました。パーティー終了後は、新入塾生は教養講座紹介フェアに参加し、保護者の方は理事長・専務理事と共に保護者懇談会に参加した後、本館見学を行うなど、充実した一日となりました。



田中優子先生の講演



東寮記念撮影



西寮記念撮影



新南寮記念撮影



北寮記念撮影



和敬塾メールマガジン第98号



2025年4月17日 和敬塾事務局

創立70周年を記念する「和敬塾フェア」が開催されます！

和敬塾はこの5月で創立70周年を迎えます。そこで、これを記念して「和敬塾フェア」を開催することとなりました。

このフェアは塾生の保護者の皆様や高校・大学の先生、地域の皆様を初めとする多くの方々に和敬塾の魅力を知ってもらおうと企画するもので、和敬塾本館(旧細川侯爵邸)や学生ホール・学生寮の見学会など、様々なイベントを予定しております。ぜひこの機会にお立ち寄りください。入場は無料です。

・開催日時:2025年5月11日(日)14:00~17:00

・主な開催内容(予定:内容変更の可能性もあります。)

- ① 和敬塾本館(旧細川侯爵邸)見学会
- ② 学生ホール見学会(大講堂&講演者色紙等)
- ③ 学生寮見学会
- ④ 塾生による出し物
 - ・居合道演武会(武道場)
 - ・茶道部によるお点前披露／お茶会(本館2階)
 - ・大学院生による研究発表会
- ⑤ 塾生フットサル大会(和敬グラウンド)



文京区目白台の緑豊かな和敬塾



和敬塾本館・栗の間



学生寮(新南寮)



学生ホール・大講堂



大講堂前廊下に掲示された講演者色紙

<文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。 公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>

和敬塾フェア開催

創立 70 周年を記念したイベントを開催します。和敬塾本館（旧細川侯爵邸）見学会をはじめ、様々なイベントを予定しておりますので、ぜひこの機会にお立ち寄りください。

見学

和敬塾本館（旧細川侯爵邸）にて見学会を開催します。東京都指定有形文化財（建造物）に指定される歴史的建造物で、月に1、2回程度の一般公開日を除き通常はお入り戴くことができませんが、当日は自由にご見学戴きます。



体験

和敬塾教養講座茶道部講師であり裏千家江川宗京先生と和敬塾塾生によるお茶会。旧細川侯爵邸内和室にて、本格的なお点前を体験してみませんか。



他にも、寮見学、大学院生による研究発表会など、様々なイベントを企画しております。
どうぞこの機会にぜひ和敬塾を知ってください。

伝統

和敬塾教養講座居合道講師と和敬塾塾生による居合道演武会を行います。普段生活しているとなかなか目にすることが出来ない、模擬刀を使った迫力の演武をどうぞご覧ください。



2025 年

5/11 (日)

14:00-17:00



公益財団法人和敬塾

112-8682 東京都文京区目白台 1 丁目 21-2

【お問合せ】 03-3941-7446

アクセス

JR 目白駅から都バス・新宿駅西口行きバス 7 分
バス停「目白台三丁目」下車 徒歩 1 分

東京メトロ有楽町線 護国寺駅から徒歩 10 分

東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩 15 分

東京メトロ副都心線 雜司ヶ谷駅から徒歩 12 分

東京さくらトラム（都電荒川線）早稲田駅から徒歩 7 分

主催：公益財団法人和敬塾



和敬塾メールマガジン第99号



2025年5月13日 和敬塾事務局

和敬塾のトピックスを配信する和敬塾メールマガジン第99号をお送り致します。
なお、発行は不定期となりますので、ご了承下さい。

和敬塾創立70周年記念塾祭が盛大に開催されました！



5月11日(日)、和敬塾創立70周年記念塾祭が大講堂で盛大に開催されました。今年の塾祭は70周年記念事業の一環で実施したグランドピアノの修復を記念するピアノ演奏会も開催され、多くの塾生保護者や塾友にも参加戴きました。塾祭の式典内容は以下の通りです。

<大講堂における式典内容>

- ① 理事長歓迎挨拶 前川 正 理事長
- ② 来賓挨拶 福山 幸一 塾友会長
- ③ 塾生代表挨拶 全塾委員長 新南寮3年 桐原君
- ④ 留学生代表挨拶 各寮代表4名
- ⑤ ピアノ修復経緯・演奏者紹介 佐藤 一義 理事
- ⑥ 記念演奏会 「70年目の言伝」
演奏 平井 真美子さん
- ⑦ 塾歌斎唱 ピアノ伴奏 平井 真美子さん



前川 理事長 福山 塾友会長

最初に挨拶に立った**前川理事長**からは創立 100 周年に向けたマイルストーンとなる 70 周年記念塾祭を盛大に開催できた喜びを話され、「混沌とした社会情勢の中であるからこそ、和敬塾での他人と折り合う共同生活の重要性がある」と挨拶され、午後に開催予定の和敬塾フェアの紹介もありました。

塾友会の福山幸一會長からは、企業に「社風」があるように和敬塾にも「塾風」があるが、4 年から 6 年位で人員が入れ替わる塾の中でユニークな塾風が構築されてきた歴史を紹介されると共に、この日が「母の日」であることから、「母親への感謝を忘れないでほしい」との挨拶がありました

全塾委員長の桐原君(新南寮 3 年)は、午後開催の和敬塾フェアにも触れ、「今日は和敬塾の良いところを知つてもらう一日にしたい」との挨拶がありました。

次のプログラムは 4 寮代表の留学生に和敬塾での共同生活の体験を流暢な日本語で話してもらいました。



全塾委員長の桐原君



登壇した 4 寮代表の留学生

最初に登壇したのは**東寮のヨウ・タ君(中国出身)**。大学生時代が「君たちはどう生きるか」を実践する絶好の時期であり、和敬塾での生活を大事にしていきたいとの話がありました。

次に立ったのは**西寮のナカニシ・タカヒト君(中国出身)**。刺激ある和敬塾での寮生活の一端を紹介しながら、「ここぞという時に力を発揮できる人間になっていきたい」との話がありました。

3番目は**新南寮のナジム・アリ君(スペイン出身)**。和敬塾での教養講座に積極的に参加していることや、塾の食堂で初めて納豆を食べた時の驚き？を紹介すると共に、日本の鉄道の正確さに驚いているとの話もありました。

留学生の最後は**北寮のアドリアーノ・ピラネオ君(フランス出身)**。寮生活を通じ「和と敬」の大切さを実感しているとの話と共に、フランスと日本の文化の違いに触れ、特に「グループに所属することを大事にしている」という話から共同体を大事にする日本人の精神性についての紹介もありました。



東寮:ヨウ・タ君



西寮:ナカニシ・タカヒト君



新南寮:ナジム・アリ君



北寮:アドリアーノ・ピラネオ君

次に佐藤理事より、創立 70 周年事業の一環で昨年の5月～7月に実施した大講堂のグランドピアノの修復作業の概要が紹介され、その後、修復のお披露目演奏会ともなるピアノ演奏をして下さる平井真美子さん^{紹介}がありました。

この中で、平井真美子さんが塾友(S36 南)の谷口善志郎(よしお)さんの姪御さんであり、谷口さんが今回のピアノの修復やこの演奏会のアレンジをしてくれたことの紹介もありました。

また、平井真美子さんのご主人がシンガーソングライターの森山直太朗さんであることも紹介され、この日も来塾していることが紹介されました。

この後、約 10 分の休憩時間を使い、舞台上が演奏会のセットに変わりますが、その舞台セッティングのスタッフに森山直太朗さんが居たことを来場者は知る由もありません！

さて、お待ちかねのグランドピアノ修復記念、並びに創立 70 周年記念のピアノ演奏会です。



ピアノ演奏はピアニストで作曲家の平井真美子さんにお願いしました。



<平井真美子さんのプロフィール>

京都府出身。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。
2012年、新進気鋭アーティストに贈られるアメリカのS&R Washington Award を受賞。クラシックのソリストへ委嘱作品を創作するなど、活動は多岐に渡る。劇伴作家としてドラマ「過保護のカホコ」、「神様のカルテ」、「リラの花咲くけものみち」、映画「60歳のプロポーズ」「白夜行」、NHK「にっぽん縦断こころ旅」(BS4K, BS)など、幅広く作品を手掛ける他、アーティストのレコーディングにもピアニストとして多数携わる。近年は”とあるひ”と題し日々の心模様を音でスケッチした短編曲の創作に勤しむ。24年4月には最新作のピアノソロアルバム”とあるひ”記録集 a day ”を発表。

今回、平井さんには 10 曲ほどの即興曲やオリジナル曲を演奏戴きましたが、その演奏の合間に、今回の大講堂のグランドピアノの修復に深く関わった経緯を紹介戴くと共に、平井さんが古い楽器を大事にされており、今回も修復された足踏みオルガンを使った演奏も行って戴きました。

また、演奏の最後には、今回の修復作業の中で出た廃材のチューニングピンを利用した平井真美子さんお手製の「小さな楽器」を来場者に配った後、それを皆に鳴らしてもらいながら演奏するというユニークな演出もありました。

最後は平井真美子さんにピアノ伴奏をしてもらい、参加者全員で塾歌を斉唱し、式典を終了しました。

式典終了後、舞台上で平井真美子さん、森山直太朗さん、谷口さんを中心に記念撮影を行いました。



チューニングピンを利用した小さな楽器を紹介



式典終了後、本館中庭で立食パーティーが開催され、食堂メンバーが腕によりをかけた様々な料理を平井真美子さん、森山直太朗さんも堪能され、塾祭が終了しました。



<写真:川名純子、文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は右記にお願い致します。公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>



和敬塾メールマガジン第100号



2025年5月14日 和敬塾事務局

創立70周年を記念する「和敬塾フェア」が開催されました！

創立記念塾祭が開催された5月11日(日)の午後、同じく70周年を記念する「和敬塾フェア」が塾の施設全体を利用して開催されました。

このフェアは塾生の保護者の皆様や高校・大学の先生、地域の皆様など多くの方々に和敬塾の魅力を知ってもらおうと企画したもので、以下の内容で開催されました。

和敬塾創立70周年記念 和敬塾フェアタイムスケジュール						
5月11日(日) 14:00 - 17:00						
	14:00 ▽	14:30 ▽	15:00 ▽	15:30 ▽	16:00 ▽	16:30 ▽
① 和敬塾本館一般公開						
② 茶道体験 ※要事前予約		14:15~		15:15~		16:15~
③ 新南寮生によるピザ販売						
④ 居合道演武会		14:15~		15:15~		16:15~
⑤ 和敬塾色紙展示						
⑥ 大学院生研究発表会			14:30~	15:20~		
⑦ 学生寮モデルルーム見学会				15:00~		16:00~
⑧ 塾生フットサル大会						

こうした塾を開放して多くの方々に来塾戴く催しは昭和の時代に周年記念塾祭の祝賀行事として開催されていた記録が残っていますが、平成以降は初の開催となります。

当日は茶道体験の事前予約が開催前に定員になるなど満を持しての開催となりましたが、正門前で塾生が配ったビラを受け取った方々にもご来場いただき、子供さん連れの親子など多くの来場者でにぎわいました。

来場者の方の中には「こんな素晴らしい環境の中で暮らす学生は幸せだなあ！」、「昭和の時代にタイムスリップした感じ！」との感想を話す方もいらっしゃるなど、様々な反響がありました。

以下、当日の写真でその雰囲気を堪能ください！



正門前で塾生がビラを配り、来場者が続々！



緑豊かなサイクリングロードのような構内！



駐輪場に並ぶ目白台名物のアシスト自転車！



本館見学の来場者も列を成して！



レトロな雰囲気の本館内部



本館3階では旧細川邸紹介ビデオを上映



茶道体験は事前予約で定員に達しました！@本館2階和室



本館脇のピザ売店



新南寮生お手製の「コックさんの本気ピザ」の販売！



本館中庭での歓談風景



居合道演武会も大好評！ちびっこ剣士も演武に参加！@武道場



講演者色紙の見学@大講堂前廊下



大講堂@学生ホール2階



在塾大学院生による研究発表会@学生ホール第2教室



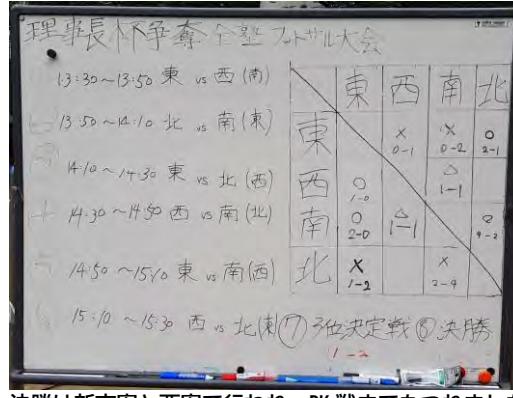
東寮・新南寮・西寮・北寮の見学会



グラウンドでは理事長杯争奪4寮対抗フットサル大会が行われ、多くのギャラリーが集まりました！



西寮の優勝で幕を閉じました！



決勝は新南寮と西寮で行われ、PK戦までもつれました！



この度はご来塾
ありがとうございました！

<写真:川名純子、文責:佐藤一義>

*メールマガジンに関するご意見や質問等は下記にお願い致します。
公益財団法人 和敬塾事務局 <juku_jimukyoku@wakei.or.jp>